

# 代表案件リスト

## 北部および全国

- 農業・水産食品の安全確保のための検査・農産食品品質コンサルティングセンター能力強化計画 (ハノイ市) 2019年10月～2022年11月
- ベトナム、カンボジア、タイにおける戦略作物キャッサバ侵入病害虫対策に基づく持続的生産システムの開発と普及 (ハノイ市、タイニン省、ドンナイ省) 2016年4月～2021年4月
- ベトナム在来ブタ資源の遺伝子バンクの設立と多様性維持が可能な持続的生産システムの構築プロジェクト (ハノイ市、ホアビン省) 2015年5月～2020年5月
- ベトナム北部中山間地域に適応した作物品種開発プロジェクト (ハノイ市、タイグエン省、ラオカイ省、ソクチャン省) 2010年12月～2015年12月
- 農民組織機能強化プロジェクトフェーズ2 (ハノイ市、ホアビン省、タイビン省、ハイズオン省、ビンディン省、アンザン省) 2012年7月～2015年7月
- 持続可能な農村開発のためのタイバック大学 機能強化プロジェクト (ソンラ省) 2011年2月～2014年12月
- 農水産食品の安全性確保のための検査強化プロジェクト (ハノイ市、ホーチミン市、カントー市) 2011年12月～2014年11月
- 農産物の生産体制および制度運営能力向上プロジェクト (ハノイ市、フンエン省、ハナム省、クアンニン省、ホアビン省、タイビン省、ハイフォン市、バリアブントウ省、クアンガイ省) 2010年7月～2014年6月
- 貧困地域小規模インフラ整備計画にかかる参加型水管理推進プロジェクト (ハノイ市、ゲアン省、ホアビン省) 2010年～2013年
- 徳島式土壌改良法による園芸作物の生産性と品質の向上にかかる案件化調査 (ハナム省 / 徳島港湾荷役株式会社、株式会社農家ソムリエーズ、有限会社檉山農園 共同企業体) 2016年11月～2017年10月

## 中部および全国

- ゲアン省北部灌漑システム改善事業 (ハノイ市、ゲアン省) 2013年3月～2019年12月
- クアンガイ省小規模貯水池修復計画 (クアンガイ省) 2010年8月～2012年12月
- ゲアン省におけるニンニクを中心とした農産物のバリューチェーン構築に係る案件化調査 (ゲアン省 / ファーマーズ協同組合) 2017年9月～2018年9月
- 安心安全な営農システム(IC-MOCS)を用いた安全性の高い農産物生産技術の普及・実証事業 (ゲアン省 / 井上石灰工業株式会社) 2016年11月～2019年12月

## 南部および全国

- カントー大学強化事業 (カントー市) 2015年3月～2022年3月
- カントー大学強化附帯プロジェクト (カントー市) 2016年3月～2021年3月
- ファンリー・ファンティエット農業開発プロジェクトフェーズ2 (ビントゥアン省) 2016年3月～2019年12月
- メコンデルタ沿岸地域における持続的農業農村開発のための気候変動適応対策プロジェクト (カマウ省、キエンザン省、バクリュウ省、ソクチャン省、チャビン省、ベンチェ省、ティエンザン省) 2011年7月～2013年4月
- ベンチェ水質管理事業 (ベンチェ省) 2017年7月～2023年10月
- ラムドン省におけるポストハーベスト処理改善に向けた日本式高度選果・マーケティングの普及・実証事業 (ラムドン省 / 日興フーズ株式会社) 2016年1月～2017年4月
- 育苗及び生産の近代化による高品質花卉の産地育成普及・実証事業 (ラムドン省 / 株式会社姫路生花卸売市場) 2018年3月～2020年7月
- レンコン・バリューチェーン構築事業準備調査(BOP ビジネス連携促進) (メコンデルタ地域、ベンチェ省 / 株式会社アグリセールズ、株式会社七色畑ファーム 共同企業体) 2017年1月～2018年10月

# SDGs\* 達成に向けた JICA の取組方針

- 1 | 人間の安全保障と質の高い成長の理念を推進する SDGs 達成でリーダーシップを発揮
- 2 | 我が国自身と開発協力の経験を活かし、SDGs の 10 のゴール\*\* で中心的役割を果たす
- 3 | SDGs 達成に向けインパクトを確保するため、国内外のパートナーとの連携、イノベーションをはかる

\* 2015年9月の国連サミットで採択された

17のゴール・169のターゲットで構成される世界全体の目標

\*\* 10のゴール:「2(飢餓・栄養)、3(健康)、4(教育)、6(水・衛生)、7(エネルギー)、8(経済成長・雇用)、9(インフラ・産業)、11(都市)、13(気候変動)、15(森林・生物多様性)」

## Japan International Cooperation Agency

### JICA Vietnam Office

11th Fl., CornerStone Building, 16 Phan Chu Trinh St.,  
Hoan Kiem Dist., Hanoi, Vietnam  
Tel: 84-24-38315005

### JICA Vietnam Office, Ho Chi Minh City Branch

No. 903-904, 9th Fl., Saigon Riverside Office Center,  
2A-4A Ton Duc Thang St., Ben Nghe Ward, Dist.1,  
Ho Chi Minh City, Vietnam  
Tel:84-28-38274942

<https://www.jica.go.jp>

<https://www.facebook.com/jicavietnam>

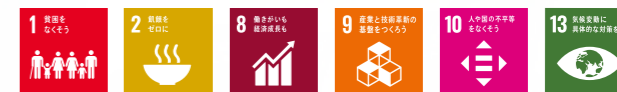


# 農業・地方開発

信頼で世界をつなぐ

国際協力機構(JICA)

ベトナム事務所

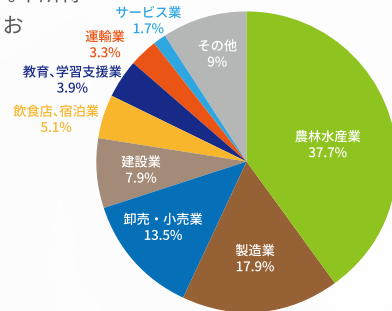


2020年1月

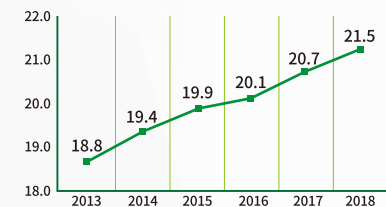
# フード・バリュー・チェーンの構築で国際競争力を強化 持続的な経済発展の牽引役に

## セクターの現状と課題

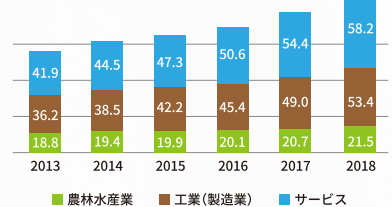
ベトナムは南北約 1,700Km にわたる国土、気象・地理的条件を有し、その環境を活かした営農活動が行われています。ベトナムの農林水産業は労働人口の約 40% が従事し、GDP の約 15% を占める基幹産業です。また、近年はコーヒー、カシューナッツ、ゴム、コショウなど商品作物、生産物の輸出も盛んで、輸出金額の約 20% を占めるなど、国際市場での存在感を増しています。中所得者層の増加などにより国内市場も拡大しており、農林水産セクターの生産、流通、加工分野を対象とした、国内外の投資が増加し多くの企業が参入しています。ドイモイ以降、市場原理の導入、国内需要の充足と輸出産業への展開といった成長を遂げている農林水産業は、近代的な技術の導入や生産基盤の整備、市場志向の強化などにより、さらなる発展の可能性を有する分野として注目されています。



【産業別就業人口割合 (2018年)】



【農林水産業実質 GDP の推移 (Bil USD)】



【産業別実質 GDP の推移 (Bil USD)】  
\* いずれも 2018 年は推定値

## ベトナム政府の政策と対応

2013年、ベトナム政府は「フード・バリュー・チェーン」構築を含む農作物の高付加価値化・国際競争力の向上を目的とした「付加価値向上・持続的開発のための農業セクター改革」を首相決定しました(2013年6月10日 899/QD-TTg)。同決定では、当国随一の野菜(年間150万トン、国内1位の生産量)及び花卉(年間18億本、国内1位の生産量)の産地であるラムドン省をモデル地域として選定し、同省での成功を全土に拡大する方針を打ち出しました。また、社会経済開発計画(2016年-2020年)では、農業セクターの年間成長率を2.5%から3%に引き上げることを目標として、制度改革及び能力開発ならびに民間投資の促進等を掲げています。



### 日越の農業大臣が中長期ビジョン(2015年~2019年)を含む議事録に署名

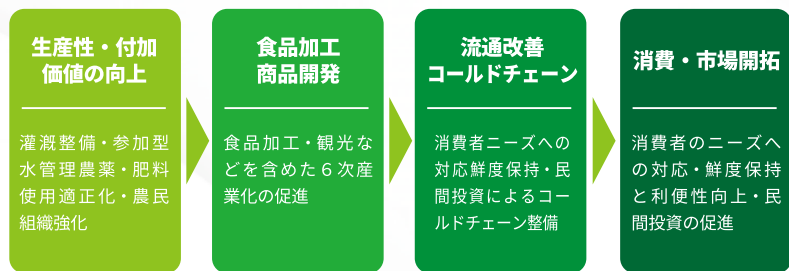
ベトナムにおけるフード・バリュー・チェーン構築のための日越農業協力中長期ビジョンを承認し、同ビジョンの取組を着実に実行していくために官民が連携・協力することを確認。

## JICAの支援戦略と方針

JICAは長年にわたり、大規模な灌漑システム整備、農業関係の研究開発、生産技術の指導、政策アドバイザーの派遣等により、ベトナムの農業開発を支援してきました。現在は農業を従来の貧困削減の取り組みから、安全で質の高い食糧供給及びベトナムの経済を牽引する産業の一つに位置付けています。

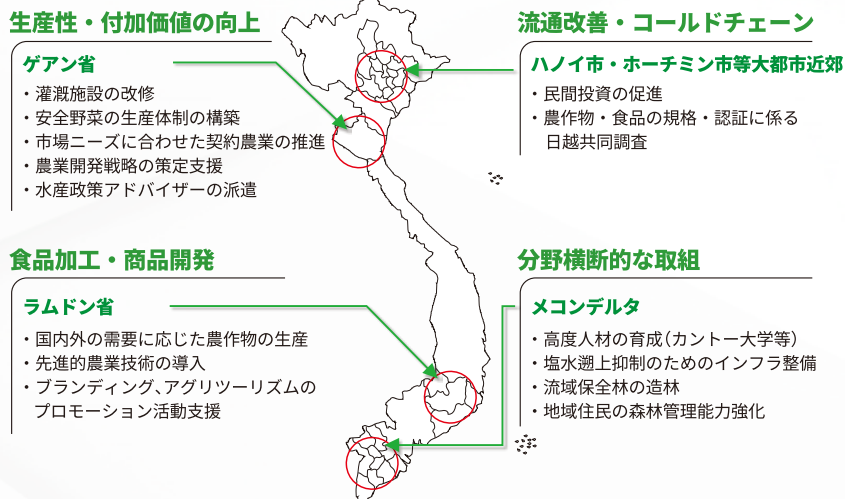
2014年、両国間で合意された「日越農業協力対話」による「日越農業協力中長期ビジョン」(2015年~2019年)に基づき、生産、加工、製造、流通、消費に至るフード・バリュー・チェーンの構築に重点を置いた支援を行っており、フード・バリュー・チェーンの各段階の課題解決に重点的に取り組むモデル地域を設定し、成功事例の展開につなげていくことを目指しています。

### フード・バリュー・チェーンの各段階の重点的な取組



そのため、ベトナムにおける農民及び農民グループと企業・ビジネス間の連携強化に加えて、日本とベトナムの産官学の連携促進、日本からの農業分野への投資誘致を支援します。また、技術協力、資金協力、中小企業等海外展開事業、草の根技術協力事業などを効果的に組み合わせ、気候変動対策(メコンデルタでの塩水遡上対策、中部地域での干ばつ対策等)、高度人材の育成(カントー大学の研究能力強化など)、情報通信技術の活用促進(ハナム省でのITを活用した生産管理ほか)といった新しい課題への対応及び新技術の適用を促進し、ベトナムの持続的な発展に貢献します。

### 日越農業協力中長期ビジョンのモデル地域



## 代表案件例

### 北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト ＜技術協力＞ (2016年~2021年)

北部地域の2市11省において安全な作物栽培の振興に向け、GAP(農業生産工程管理方法)の励行、共同出荷体制の確立、購買者とのマッチングと契約、生産者及び消費者へ安全野菜に対する啓蒙活動などを実施しています。

(実施地域: クアンニン省、フンエン省、ハナム省、ハイフォン市、タイビン省、ホアビン省、ハノイ市、ビンフック省、バクニン省、ナムディン省、ハイズオン省、ニンビン省、フートー省)



バイヤーと生産者による野菜の品質・規格を確認し合う「目揃え会」を実施

作物の品質向上につながっています

### ラムドン省におけるポストハーベスト処理改善に向けた日本式高度選果・マーケティングの普及・実証事業 ＜中小企業海外展開事業＞ (2016年~2017年)

ラムドン省における「ポストハーベストセンター」構想の実現に向けて、日本式トマト選果機を使った「ダラット野菜」の高付加価値化に向けた実証を行いました。また、同省内でのポストハーベストセンターの具体的な設置・普及展開計画を検討。本事業終了後に農家が自律的にポストハーベスティングセンターを設置し、高付加価値の農産物を生産できる体制の構築を行いました。(実施地域: ラムドン省/実施団体: 日興フーズ株式会社)



選果機によるトマトの仕分け・選別

### ゲアン省農業振興開発計画策定支援プロジェクト ＜技術協力＞ (2016年~2019年)

JICAの協力の下、ゲアン省農業農村開発局は農業マーケティングプラットフォーム(AMPF)を立ち上げ、市場ニーズや生産者情報を蓄積したデータベースの構築、商談会の企画・開催、契約農業の推進等を行いました。複数のパイロット活動を通じ、作れるものを作る「プロダクトアウト」から売れるものを作る「マーケットイン」の考えにシフトすることにより、新たな流通モデルを形成しました。JICAは「ゲアン省農業振興マスタープラン・アクションプラン」の策定支援を通じてゲアン省のフード・バリュー・チェーン構築に寄与しました。(実施地域: ゲアン省)



AMPF主催マッチングイベント